

「こんにちは」から始まる国際交流



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

会報 No.11 (March 2004)



Contents

- ◇ 「KIFAへの期待」/町長 佐藤篤松、◇ 「最近会長として思うこと」/会長 藤田美保 2
- ◇ 2003年度主要実施活動一覧 2
- ◇ 日本語教室でのボランティアの力/川崎直子、「私が考える国際交流」/呉瀟柳 3
- ◇ 「KIFAの皆さん、カルガリーからこんにちは」/犬飼薫 4
- ◇ 「結婚式 in ハワイ」/橋本美穂、KIFA日本語教室、英会話教室の紹介 5
- ◇ 「ミャンマーを訪ねて」/磯部正弘 6
- ◇ 「なんとなくKIFA会員」/大島明博、「ベトナムの生活」/フン・タン・ホイ 8
- ◇ 「日本および日本人の印象と生活」/グエン・ティ・イエン 9
- ◇ 「私の希望」/ババタ・ヘナタ 9
- ◇ 新役員自己紹介（抱負）、2004年度の主な活動行事予定 10
- ◇ シジキさんと、ツーターさんからのカード 11
- ◇ 世界の国旗「ベトナム」、企業会員/賛助会員一覧、定例総会の案内、役員構成 12

「かにえ国際交流友の会への期待」

町長 佐藤篤松



「かにえ国際交流友の会(KIFA)」の皆様におかれましては、日ごろから地域に根ざしたさまざまな国際交流事業にご尽力いただき、心から敬意とお礼を申し上げます。

さて、今日、国際社会におけるボーダレス化がますます進み、国だけでなく地方も国際交流や国際協力、国際貢献の分野で果たす役割が大きくなってきています。その中でKIFAの皆様は、日本語しゃべろう会や国際理解講座の開催、ミャンマーでの小学校図書館建設に係る寄付金や文房具の寄付など幅広く活動されており、大変感謝しております。

また、2005年3月25日から21世紀最初の国際博覧会が愛知で開催されます。蟹江町はモンゴル国を支援し、万博を盛り上げていきます。万博期間中には、蟹江町にもモンゴルをはじめ、海外からたくさんの方が訪れることでしょう。その際には、皆様方には特に町民の先頭に立ち、おもてなしをしていただきたいと思っています。

最後になりましたが、KIFAのますますの発展と会員の皆様のご多幸を祈念しましてごあいさついたします。

「最近会長として思うこと」

会長 藤田美保



私達のKIFAは設立以来10年を越えました。振り返ってこの2・3年間、定例行事(イベント)は問題なくこなし、会報は充実させることができ、日本語教室は拡充させることができたと思います。

しかしこの間、周りには外国人をたくさん見かけるのに私達の交流の場：「イベント」への外国人参加数はむしろ減っている気がします。各行事に対するPRの努力も足りないこともあるでしょうが、行事あるいは企画自体が新鮮味をなくして来ていることにも原因があるかもしれません。

会としては定例行事を行いながら一方では新しい企画、将来計画などを検討するべきでしょう。しかし残念ながら、私たちの役員会は年間定例行事の準備・実施に追われているのが現状です。

役場側からは側面的な協力はいただいておりますが、さらなる支援(特に人的支援)すなわち実質的な事務局体制を作っていただければありがたい。KIFAがこれからも活動的な国際交流団体として存在続けるためにぜひお願いする次第です。

かにえ国際交流友の会 2003年度実施の主要行事一覧

開催日	行事内容
2003年	
4月 20日 (日)	総会・パーティー (公民館分館)
6月 15日 (日)	親善ボーリング大会 (カニエボウル)
8月 9日 (土)	町民夏祭り出店 (創郷公園)
10日 (日)	同上
10月 11日 (土)	町民秋祭り出店 (町役場前)
12日 (日)	同上
12月 7日 (日)	クリスマスパーティー (源オコミュニティセンター)
2004年	
2月 22日 (日)	国際交流関連講演会&料理(ミャンマー小学校支援)

「日本語教室でのボランティアの力」

川崎 直子

火曜日の「日本語しゃべろう会」でお手伝いをさせていただいている川崎直子と申します。蟹江町役場によると、2003年9月1日現在の蟹江町の外国人登録者数は916名で、この数字は月単位で増加をたどっているということです。これはおそらく蟹江町に限ったことではないでしょう。

私はいま、愛知県内の2つの大学で留学生と関わり、教壇に立っています。留学生は私たち日本人が特に意識しないで使っている単語にも疑問を持ちます。たとえば『案内』と『意外』はどう違うんですか？』『そこで』と『それで』はどう使い分けるのですか？一。即座に説明できますか？そうした質問を学生から受けるたび、私は日本語を客観的に見つめ直す作業をします。最近の日本語教育学会では、「ニューカマー」と呼ばれる新しく日本に移住してきた外国人と日本人との「共生社会」を目指してというテーマがよく議論されます。

外国から移住してきた人たちに日本語の手助けをするボランティアは、彼らをお客さま扱いするのではなく、彼らもまた同じ町の住民であるという意識の下で、共に生きていける社会(コミュニティ)を実現することを念



川崎さん(中)と学生
(向かって左が呉さん)

頭に置いた活動が必要であると思います。

そこでは、彼らが会話を交わす日本人が、不快に思わない日本語を伝えることを第一に考えることが大切だろうと思います。

それにはどうしたら良いのでしょうか。日本語が話せることだけがボランティアの条件ではないのかも知れません。他の地域のボランティア団体との交流を通して、情報を交換することも必要でしょう。そして、コミュニケーションを重視した日本語の教え方の勉強会に参加することも大切なこととなるでしょう。

私はボランティアの日本語教室こそ、日本語教育の原点であると思います。外国人と日本人が同じ地域で生きる生活者として、共に住みやすいコミュニティを目指すための第一歩の草の根活動として、日本語教室でのボランティアの力というのが今後ますます重要になってくることでしょう。

最後に、私が教えている大学で「私が考える国際交流」について、留学生にエッセーを書いてもらいましたので、その中のひとつを次で紹介したいと思います。

「私が考える国際交流」

呉 瀟柳(桜花学園大学)

私は中国からの留学生、呉瀟柳(ごしょうりゅう)です。出身は、江蘇省です。今、豊田の桜花学園大学の人文学部で勉強しています。去年の4月に日本へ来ました。今まで、いろいろな日本人と出会って、いろいろな事を体験しました。

私は今、コンビニでバイトをやっています。初めのうちは、5円玉と50円玉すら時々区別ができませんでしたが、今では、レジの操作が上手にできるようになりました。それは、全部丁寧に教えてくれた先輩のおかげです。バイトをやっている間、日本人が時間をきちんと守ることを、身をもって感じました。教えてくれた先輩は、2年半働いていて、遅刻は一回もなかったそうです。「郷

に入れば郷に従い」私もきちんとやらなければならないと思いました。バイト先のみん中は優しく、自分は外国人という感じはしませんでした。時々みんなと一緒に食事をしながら、日本の習慣を教えてもらいました。私もお母さんに送ってもらったお菓子とかをみんなと一緒に食べました。

大晦日に先輩たちと大須観音へ初詣に行きました。大勢の日本人と一緒に、平成15年の最後の3秒を数えて、大騒ぎをしました。すごく楽しかったです。これからも、日本の文化と習慣を知りたいです。そして、その一方で、日本の友達に中国の文化や習慣を伝えていけたら良いなと思っています。



Calgary Magazine に掲載された犬飼さんとそのお店

私はカルガリーに来てもう5年目を迎えています。この街にも慣れ地図を見れば大体の所へ行けるようになりました。こちらは今は最も寒い時で、平均気温-30℃前後ですが、今年は特に寒く日中の体感気温が-40℃以下の日が多く、もう寒いではなく痛い！です。でも夏は最高に過ごしやすいところですよ

主人と私は和食器のお店をしています。カナダで和食器？と思われるかもしれませんが結構需要があるのです。在住の日本人はもとより中国、台湾、韓国、ベトナムなど（カナダは移民の国）お米を食べる人々が和食器を買ってくれますし、日本食レストラン、またカナディアンは日本食レストランで見たお皿や茶碗、徳利にお猪口など買いに来てくれます。“Made in Japan is Good!”と皆さん口々に言ってくれます。

カルガリーでの日本食レストランについて少しお話しますと、現在40店ほどあり私達が来た頃の倍になっています。（日本人シェフがいるのは1/3）それだけ日本食ブームというか寿司ブームなのです。ですから寿司中心のメニューがほとんどです。日本に比べネタは大きく、シャリは甘め、わさび抜き（わさびはお醤油の中にとっぷりいれて）というのが一般的です。ネタの種類は日本とあまり変わりませんが、サーモンはさすが本場だけあっておいしいです。魚はパン



典型的な日本食のランチ

クーバーから送られて来ますが、お店によっては東京築地から空輸で仕入れている所もあり、ここは日本と変わりなく美味しいですがお値段も結構高めです。お寿司の他にはうどん、そばの店がありますがここでも寿司メニューあります。てんぷらうどん、山菜そば、釜あげ等おいしいです。ただこちらの人は音をたてて食べないのでその分おいしさが減っているかな…と思っています。お店の主人はツルツル！ズルズル！の音だしコンテストをしようかな、なんて言っていました。

次はカルガリーに住んでいる日本人の様子に少しふれてみます。現在は日本人、日系人、ワーキングホリデー、学生を含めて3000人程と聞いています“日系人協会”というコミュニケーションセンターがあり、日本の季節に合わせた行事や、生け花、お茶、習字、料理等の教室が開かれています。また日本の本やビデオテープを置いた小さな図書館もあります。シニアには“寿会”というのがあり、カラオケ教室や囲碁、将棋、などで集まりがあるようです。子供たちの学校についてはウイークデーはカナディアン人の学校、土曜日は日本語補習校（小学生まで）に行っている子が多いです。またカルガリーは

ロッキー山脈に近く多くの日本人が観光に訪れます。その観光地で働いているワーキングホリデーの若者も多くいます。最近ではカナディアン男性と日本人女性の結婚が増えており日本人、日系人がもっと増えていく事でしょう。



犬飼さん夫妻

日本と遠く離れていますが日本のTV（NHKが多い）、新聞も見ることができ、食べ物も日本食があってホームシックにかかることなく暮らしておりますが、何よりも回りの多くの人の手助けをいただいているお陰と思っています。



日本と遠く離れていますが日本のTV（NHKが多い）、新聞も見ることができ、食べ物も日本食があってホームシックにかかることなく暮らしておりますが、何よりも回りの多くの人の手助けをいただいているお陰と思っています。

「結婚式 in ハワイ」

橋本 美穂

昨年10月、KIFA会員の柴田薫さんがハワイ在住のアメリカ人の方と結婚しました。その結婚式の様子をご紹介します。

結婚式は美術館の裏庭で行われ、人前式でした。ハワイは気候の良い土地ということもあり、海や公園など様々な場所で結婚式が出来るそうです。柴田さんの結婚式も天気がよく、とても雰囲気の良いものでした。

式はハワイアンミュージックの生演奏が流れ、司会の方の進行によって進みました。私は、ブライズメイドという役で花婿、ブライズマンと並んで父親と入場する花嫁を待っていたので、少し緊張しました。ブライズメイドは交換する指輪を持つなど花嫁の手助けをする役で、友人や姉妹が務めます。ベストマンは花婿の手助けをする役です。ご両親やゲストが見守る中、新郎新婦が誓



いの言葉を交わしおだやかに結婚式は行われました。2人共とても幸せそうで感動しました。

今回の結婚式は今までにないものでとても楽しい経験でした。驚いたのはゲストの服装です。アロハシャツは正装なので

納得なのですが、ジョギング姿の方もいてとても驚きました。私は日本の披露宴にできるようなドレスだったのですが、恥ずかしく思ってしまったくらいほとんどの方がカジュアルな服装でした。日本のイメージがあるのでとまどいましたが、こんなカジュアルでアット

ホームな結婚式も良いものです。

柴田さんはそのままハワイで生活することになり、寂しくなりましたが、また遊びに行きたいと思います。柴田さんの幸せを願います。

KIFA日本語教室「日本語しゃべろう会」の紹介

★火曜日クラス：毎週火曜日、10:30 - 12:00

蟹江児童館

連絡先(担当): 太田幸子、TEL/0567-67-4959

★土曜日クラス：毎週土曜日、19:30 - 21:00

中央公民館

連絡先(担当): 八神里美、TEL/0567-95-0307

お知り合いの外国人の方達に上記教室があることを教えてあげてください（もちろん無料です!!）。

これらの教室では日本語講師のボランティアも募集しています。関心のある方、

上記の役員までご連絡下さい。

KIFA 英会話教室の紹介

★★ 講師：ジョン山本先生、第2、4日曜（月2回）、中央公民館 ★★

★ クラスA：午前9:00～10:30、クラスB：午前10:30～12:00 ★

会費は月々2,000程度（受講者数により多少変動）です。当クラスでは現在、受講者を募集中です。詳細、申し込みは英会話教室担当：青木猛、TEL/0567-31-1216まで。

「ミャンマーを訪ねて」

磯部 正弘

私が初めてミャンマーを訪ねたのは、1995年の6月のことでした。旅行会社に日本からヤンゴンまでの航空券や、現地でのガイドやホテル、国内線の航空券などを予約して、一人で名古屋空港を出発しました。当時、日本からミャンマーまでの直行便はなく、タイ航空でバンコクまで飛び、



乗り換えてヤンゴン国際空港へ降り立ちました。着陸の直前、機内の窓からヤンゴン市内を見ました時、雨期のためほとんどの市街地が水の中に埋まり、小さい掘っ立て小屋のような家が所々に見えるぐらいで、えらいところへ来てしまったというのが、最初の感想でした。飛行機のタラップを降り、歩いて空港の建物に行き、長い入国手続きをすませ、機内預けの荷物を更に長い時間をかけ受け取り、持ちこみ荷物のチェックを受け、ようやくゲートの外でガイドの出迎えを受けたのは、着陸してから1時間近くも経っていたでしょうか。

ガイドは、日本語を勉強している大学生で、言葉も不自由することなく通じ、旅の間、不安を覚えることはありませんでした。空港から日本製の中古車に乗ってヤンゴン市内へ向かいましたが、市内の中心部への20～30分のドライブの間、私は、機内での最初のミャンマーの印象を180度転換せざるを得ませんでした。と言いますのも、道路は広くゆったりとしており、きれいに清掃され、車も日本の中古車がほとんどですが、渋滞もありました。その上市内中心部は、5～7階建ての建物がひしめきあっていましたしヨーロッパ風の雰囲気のあるバルコニーがいくつかの建物に見られました。夜の暗闇の中に浮かぶライトアップされたシェタゴンパゴダの美しさにも、私の心は魅了されてしまいました。

こうして私はミャンマーの第一歩を踏みました。こ

れがその後何度となくこの国を訪れる事になるとも知らずに。

「ミャンマー」以前の国名をビルマといい、ビルマの豎琴でご存じの方も多いと思います。現在は軍事政権で、スーチー女史の名前はテレビや新聞紙面で時々見かけられます。インド：バングラディシュ：中国：ラオス：タイと国境を接しており、14の州及び特別自治区に分かれています。そもそもビルマ族が初めてミャンマーの地に姿を現したのは9世紀頃で、中央アジアからチベット、中国の雲南地方を経由して移動してきたと言われています。ビルマ族の国内制覇は11世紀アノータター王が中部ミャンマーを征服して、バガン王朝を創建したところから始まります。それ以前、紀元前3世紀にスリランカより仏教が伝わり、現在ミャンマー人の9割が厚く仏教を信仰しています。

ミャンマーの民族を大きく分けると30余りといわれていますが、細かく分類しますと150～160の民族に分かれていると言います。

毎年4月中旬、全土で水掛け祭りが行われますが、これは、タイでもそして中国雲南省四双版纳でも見ることができます。このことから、現在は国境という線引によって国が分かれています。元々は、大きく分けると同じ民族であったことが伺われます。

そもそも私がミャンマーを訪ねた最初の理由は、ヤシの実を捜すことでした。ヤシの実といいましても、日本でも近年見かけます。中の汁を飲む大きな実ではなく、お茶の席で使う小さな細長い実のことで、中にきざみ煙草を入れるための器です。最初の訪問では、ヤンゴン：バガン：マンダレーを訪れました。バガンは先にも述べましたが、最初に王朝ができました都です。マンダレーは最後の王朝があったミャンマー第二の都市です。そのバガンを訪れたとき、私は思いがけない発見をしました。漆の工芸品でした。それも日本ではキンマと言われています作品で、漢字で書きますと《蒟醬》です。400年以上も前、大航海時代と言われる頃、南蛮貿易によってもたらされ、現在も《蒟醬の茶箱》として伝わっています。ただしミヤ



ンマーでは、その時代の製法は変化をしていますが、現在では当時と同じ作品は作られておりませんが、この古い技術は何と香川県高松市に現在まで伝わっています。

ここで私はミャンマーの漆の工芸品を《キンマ》と書きましたが、これは外来語ですが今では日本の固有名詞となっています。《テンブラ》《カステラ》等と同じようなものです。そしてこの漆の工芸品をキンマとよんでいます。実際は、その工芸品の中に入れるものがキンマであるとも、私どもの世界ではすでに理解されています。その入れるものとは日本語で表現すると、噛み煙草と言

われピンロージュというヤシの木の一種の実を砕いて、石灰と香辛料を混ぜ蔓性の植物の葉で包み、口の中で噛むという風習がインドから東南アジア：台湾にかけて現在でも残っています。それが大航海時代に器と共に日本へ伝わり、風習は日本人にはなじまず、器の名称がキンマとして現在まで伝わったと考えられています。しかしミャンマーでは、この漆の工芸品を《ヨンディ》といいます。それではキンマという発音はどこからという疑問が湧いてきます。その答えはその後ミャンマーを訪れるときに立ち寄りましたタイで見つ

りました。タイ語で《キンマー》とは《マーをどうぞ》あるいは《マーを召し上がれ》と言う意味であると何人かのタイ人から聞きました。《マー》とはタイ語で噛み煙草のことです。大航海時代、タイの北部チェンマイのあたりは、ビルマに含まれていました。現在でもチェンマイ近郊ではキンマの工芸品が作られているそうです。ミャンマー

の文化がタイに伝わり、それが日本までもたらされ現在まで伝えられている。考えただけでもわくわくしてきます。

その他にもミャンマーには豆腐があります。発音も《トーフ》です。豆腐の発祥の地は中国ですが、人々の交流によりさまざま



建設中の図書館前にて記念撮影

な文化が国境を越えて広がり、その土地の文化と交わり、あるものは残りあるものは消えてしまう。そしてまた新しい新しい文化が生まれる。

ミャンマーは何度訪れても、新しい発見を与えてくれ、その度に私の好奇心をみたくしてくれます。人々は厚く仏教を信じ、純朴で親切です。一年前、蟹江町の国際交流の方々とミャンマーを訪れる機会がございました。そして国際交流の基金の中からミャンマー中部の山あいの小学校に立派な図書館を寄贈していただきました。今後ともその交流が続きますことを、心から願います。

ミャンマーに関するいくつかの情報・知識

国名(日本語) : ミャンマー
国名(英語) : Union of Myanmar
首都 : ヤンゴン
面積 : 67万6552平方キロメートル
人口 : 4640万人(1997年国連推計)

民族構成

ミャンマーに居住する主要民族はミャンマー(ビルマ)族で全人口の69%を占める。政府が公式に確認している民族数は135で主だった民族はカイン(カレン)族、カヤー族、シャン族、カチン族、ラカイン族、モン族、チン族などである。

編集者注) この原稿は著者による2月22日のKIFA講演会の内容と関連するものです。著者の磯部さんは商用でしばしばミャンマーに行かれますのでこの国の事情に詳しく、話を聞くには相応しい方です。

前回の会報ですすでにお知らせしましたように、KIFAではこの磯部さんの協力を得てミャンマーの山奥にある小学校へ学用品その他の援助を行いました。この際、現金は図書館の建設に使ってもらうことになり、今年度も町民祭りの出店での売上金を磯部さんに届けていただきました。今回の講演は図書館の建設の様子を報告していただくものでもありました。

「なんとなくKIFA会員」

大島 明博

私が入会したのは何年前だろうか。町の英会話教室の仲間が誘ってくれたのだが、その友人も1年後にはやめてしまった。当時の私は漠然と世界中に友達がいたら、楽しいだろうなぐらいに思っていた。しかし、ホストファミリーやホームステイを経験するたびに海外の友人も10カ国30人以上になり、今度は彼らと友人関係を維持するのが苦痛になってきた。お互い訪問した時はハッピーであるけれど、普段の生活に戻れば浮かれてばかりおれないのが現実だ。という訳で国際交流にも関心が薄くなってきた感じがしています。

3年前、近くに住む者どうしボランティアとガーデニングで仲間作りをしようと、住民グループ「同志会」を設立しました。いつかはクライストチャーチのような花でいっぱいの町にしたいなと言うのが夢ですが、2年前に呼びかけられた佐屋町ボランティア連絡協議会「地域福祉分科会」に所属し、16年度は蟹江町でも行われている花壇コンテストを実施する予定です。どこの国へ出

かけても花の名を知っているだけで、コミュニケーションに役立ちました。

2年前、佐屋町自然環境保全グループ「ギンヤンマの会」も設立、この会は河川の浄化やトンボの産卵場所を増やす活動をしています。ピオトープと言う言葉をご存知だと思いますが、昔の自然を取り戻したいとの願いでやっています。池などの浅瀬に住む生物全般に関心があるのですが、ザリガニにも興味がありましてルイジアナやパースにある養殖場にもいつか行けたらと思っています。中国江西省の羅さんに問い合わせたら、市場でザリガニが売られているとの事。韓国や中国にアメリカザリガニはいませんから、とても興味があります。世界に500種、日本には3種(内2種は外来種)いること皆さんは知りませんか。

今後はKIFAを通じて知り合える海外の方と自然環境について語り合える事ができればと願っています。

「ベトナムでの生活」

フン タン ホイ (ベトナム)

拝啓 今晚は、私はホイと申します。いつもお世話になっております。今日本はちょうど冬ですね。ベトナムはかなり暑いです。日本の寒さが懐かしいです。蟹江日本語教室の先生たちのご機嫌はいかがでしょうか。実は私はベトナムに帰ってからすごく忙しかったです。なかなか先生たちに手紙を書くことが出来ませんでした。誠にすみませんでした。私は色々な仕事をしました。この最近の仕事はツアーガイドです。この会社に入るために採用試験が必要です。この試験は全部日本語の試験でした。先生たちのお蔭で合格しました。毎日私は日本人のお客さんをいろいろな所へ案内してあげました。満足です。実は私は去年の12月に日本語1級の試験を受けました。多分来週に試験の結果があるかもしれない。合格できるか、できないかまだいえないですが、大切なのは自分の実力だと思います。だからこそ仕事をするかわら日本語と中国語の勉強をしています。

今の私の生活はだいたいいいですが、もちろんうれしさとさびしさがあります。昨日日本から日本語の歌のテープをもらいました。その中の「おじ

いさんの古時計」という歌が大好きです。大きなノッポの古時計おじいさんの時計。送ってくれたのは私のお客さまです。彼らがベトナムへいらしたとき私はいろいろな所へ案内してあげました。いつもお客様を喜ばせて歌を歌ってあげるのので、日本に戻ってからよくプレゼント送ってくれました。最高です。今度もし先生たちが、わが国にいらっしゃいましたら日本語の歌を歌ってあげます。八神先生と伊藤先生に赤とんぼの歌を歌ってあげようと思います。私の日本語はまだ苦手ですが、日本人と接触する機会がたくさんあるのでこれから私の日本語だんだんうまくなるでしょう。お話が変わりますが、最近日本語教室のクラスの学生たちは多いですか。今度もし暇があったらぜひいらしてください。私は皆さまにベトナムのいいところを案内してあげます。

今の日本はすごく寒いだから気をつけてください。末筆ながら日本語教室の先生たちによろしくそれでは失礼します。 敬具

注) 原文はメールで送られてきたローマ字表記の日本語です (青木猛)。

「日本および日本人の印象と生活」

グエン ティ イエン (ベトナム)

私は NGUYEN THI YEN です。26歳です。ベトナムでは、中学校の教員をしていました。研修生として日本にきました。一緒に日本に来た研修生らの代表として感想文を書きます。

周知のように、教員の仕事とは若い者の教育に全力を尽くすということ。教員の仕事にはとても満足ですが、私はもっと工業技術を勉強したいので、経済大国、工業大国日本にきました。それ以外の日本の文化、習慣等も勉強したいので、来日出来たのは私にとって、とても嬉しい事です。でも、初めて家族から離れて外国に住むので、いろいろな不安があります。初めての新しい仕事、慣れない生活、環境、人間等に接するときとても心配でした。最初はどうかと不安になりました。

日本の交通システムと電話システムをみると驚いて、感動しました。そして、夜、女性が一人で暗い道を歩くことが出来るのをみて、日本は安全の国だと思いました。

ベトナムで日本について、テレビと新聞を通じ少しは知っていました。でも、日本に来てみたら思っていたより素晴らしい国でした。日本は安全、

平和、自由、人権尊重である国家だと思っています。日本人の生活の中にはいろいろな習慣、厳しいルール、礼儀を守らなければならない。そういう習慣、ルール、礼儀は日本人の立派な人格を形成すると思っています。そのことを頑張って勉強したい。

日本人は個人個人で自覚を持って、日本をきれいにする。日本人は、人に付き合うのがとても丁寧で、日本人の生活の中でも周りの人に迷惑をかけないように生活する。この点はすばらしいです。

一緒に仕事をする日本人は仕事についても、生活についても私たちに対していつも優しく、丁寧に教えてもらって、私たちはとても感動する。感謝の気持ちで頑張って仕事をして、勉強していると約束する。

私は三年間の研修が終わりベトナムにもどって、教員の仕事を続けたいと思う。自信を持つ教員になると思う。学生に教える時、すばらしい日本の文化、習慣、日本人の性格などについて教えようと思っています。

最後に いろいろお世話になって まことにありがとうございました。

「私の希望」

ババタ ヘナタ (ブラジル)

私は、ババタ ヘナタ と申します。22歳です。日本に両親と来日して、10ヶ月になります。私が日本にきた目的は、この素晴らしい国で自分を見つめ直し、自分を良く知った上で将来のことを決めたいと思ったためです。出来れば、仕事をして貯金もしたいと思っています。

母国では、仕事をしていませんでした。自分が本当に勉強したいのは、数学や化学や物理学ではありませんでした。それで、学校を中退しました。自分のための勉強は、日本に来て少しずつ分かってきた他国文化や他国の価値観や他国の人々を知ることだったと、分かりました。

日本で魅力を感じたのは、日本人は自分たちの習慣や文化などを受け継ぎ、そのまま迷わず続けているということです。

今、私が残念に思っているのは、まだ日本語が充分ではないため、自分を表現できなく、交流ができないことです。私の住んでいる町でもっと日本の文化にまつわるお祭りなどがあると、在住外国人は日本のことが理解でき、楽しめます。交流も深まり、私たち外国人ももっと住みやすくなると思います。

日本に在る間は、この国の素晴らしいところを全部吸収したいと思います。もし、日本の人が私の国のことを少しでも理解したいと思えば、生きる喜びと明日がより良い日である希望を持つ事を見せたいと思います。

日本には、どの位滞在するかは分からないけれど、この期間は私の大事な人生の一ページになることは確かです。ありがとうございます。

著者紹介

※ グエン ティ イエン (NGUYEN THI YEN) さんは、ベトナム人女性で、他の多くのベトナム人と研修生として日本にきました。「日本語教室」(土曜日クラス)には、2003年7月から勉強をしています。「日本語教室」に來ている外国人の生徒達は皆、「頑張り屋」さんで、お互いにとても仲が良く、助け合ったりします。なかでも彼女はリーダー的存在で、他のベトナム人に「教える」という場面も数多くあります。

※ ババタさんは、ブラジル人女性で、日本に來て10ヶ月です。「日本語教室」(土曜日クラス)では、同じく2003年7月から勉強しています。体は、とても大きく、上背もありますが、性格はとてもシャイでおとなしい人です。ダンスがとて

もうまく、日本語の勉強もとても熱心です。
注) 今回、よせていただいた原稿は、2人とも母国語で書いてありました。和訳するにあたって、彼女たちと関係の深い日系の方に全面的に協力いただきました。文章としては十分ではない部分もありますが、今回あえて修正しませんでした。彼女たちの「想い」は、この文面で十分に伝わってくると思っています。

最後に、蟹江町及び近郊に在住する外国人との交流が、ますます盛んになり、輪が広がることを日本語教室に関わっている者として切に願っています。このことが現在の「きな臭い」世界情勢の中では、とても大切なことと思っています。

「日本語教室」(土曜日クラス) 担当:

やがみ さとみ

新役員自己紹介 (抱負)

理事 中西 久子



子供時代からいつも外国に対して、興味をもっていました。それぞれの国や、そこに生活している人やその人たちの考えている事などを知りたいと思っていました。蟹江国際交流でその活動のおてつだいをさせていただけるのは、とてもうれしいことです。これからは自分が知りたいと思うだけでなく、日本や、蟹江町のことを知っていたるように活動していきたいです。

理事 太田 幸子



2003年4月より火曜午前の日本語教室を担当させて頂いています。現在生徒はブラジル、中国、フィリピンからの若いお母さん達3名です。最近は個人的な悩みを相談されることもあります。彼女達が少しでも多く日本語に慣れ、より快適に暮らすことができる事を願ってボランティア一同頑張っています。

2004年度の主な行事予定

日時	行事
2004年4月18日	総会、懇親パーティー
6月6日	親善ボウリング大会
7月	ルイジアナから ホームステイゲスト来訪
8月	蟹江夏まつり参加
10月	蟹江秋まつり参加
10月	ハンブルグから ホームステイゲスト来訪
12月12日	クリスマス会
2005年2月20日	国際交流関連講演会
3月末	会報発行

KIFAイベントボランティア募集

上記の各行事、イベント等でお手伝いして頂ける方を募ります。各役員の方まで声をかけて頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。

Hello MR. FUJITA, How are you?
 How is your family? How is
 KIFA'S friend are? I am
 inviting you and all KIFA'S
 friend to visit Bangladesh.
 My son NIPPON now 26
 months old, he can walk and
 speak. Are there very cold
 in Japan this year?
 I am doing real estate busi-
 ness. — JOBIULLAH SIDDIQI
 144-SOUTH SHAJAHANPUR
 P.O. SANTINOGOR
 DAKKA-BANGLADESH
 PHONE-8802-8355493
 88-0193-62280 MOBILE

← シジキさんから正月前に届いたカード

(編集者訳)

こんにちは藤田さん、お元気ですか。ご家
 族は如何ですか。また、KIFAの皆さんはお
 元気ですか。藤田さん、KIFAの皆さん、バ
 ングラデシュを訪ねて来て下さい。

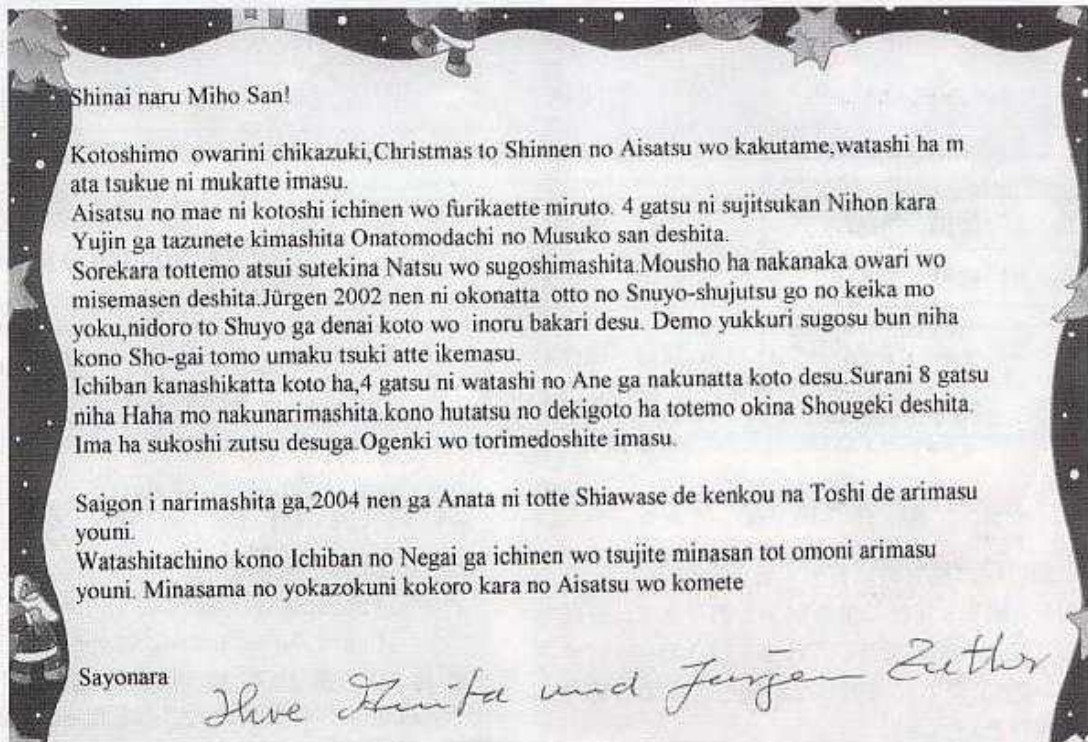
息子の「ニッポン」はもう26ヶ月になり、
 歩き、しゃべることができます。この冬日本
 は大変寒いでしょうか。私は現在こちらで不
 動産業を営んでいます。

ジュビウラー・シジキ (Jobiullah Siddiqi)

144 South Shajahanpur,
 P.O. Santinogor, Dakka, BANGLADESH

以下はハンブルグのアニタ&ユルゲン・ツーターさんから来たクリスマスカードです。
 全部ローマ字で書いてあります。時々間違いがありますが、読んでみて下さい。

この10月中旬(?)にはツーターさんの世話で、ハンブルグからのホームステイのお客
 さんを迎える予定です。その折りには皆様のご協力をお願いします。



世界の国旗シリーズ：「ベトナム」



1976年にベトナムは統一された。この国旗は元は北ベトナム国旗で「金星紅旗」と呼ばれる。赤は人民の血、黄は民族の団結を示す。

2004年定例総会と懇親パーティー

時：2004年4月18日(日)
 総会：11:00～ パーティー：12:00～
 所：蟹江中央公民館分館3階会議室

定例総会と、その後に懇親パーティーを開催します。パーティーでは、各趣向を楽しみながら歓談できるよう計画しております。会員の皆様はもちろん、国際交流に関心のある方もぜひご出席下さい。

ご協力ありがとうございました。引き続きご支援をお願いします。

企業会員

(株) アイエス	蟹江住宅設備 (株)	甘強酒造 (株)
----------	------------	----------

賛助会員

(株) 片桐銘木工業	観音寺	共同建設 (有)	高坂英次
(株) 鈴鋼製作所	(株) 鈴鋼化成	(有) ダイアン	月星歯科クリニック
東海興業 (株)	仏光寺	日光鋳工場 (株)	フミン加工 (株)
松屋 (株)	松屋呉服店	丸信製粉 (株)	(有) 宮長食品
もへの寿司	(有) 山田印刷	山田栄子	山田建設 (株)

会長 藤田 美保	副会長 谷口 信一	書記 谷口 (兼任)	2003-2004役員名簿
顧問 棚橋 美知子	谷中 ひさ子	八神 里美	
会計 小林 文子	監事 伊藤 恵津子	理事 松岡 慎二 青木 猛 杉野 弘行	
鈴木 ツタエ	黒川 邦子	太田 幸子 黒川 ちづ子 中西 久子	

☆☆ 編集後記 ☆☆

最近原稿集めに苦労することが少なく、その分、編集・発行に余裕が少しあります。皆様のご協力のお陰です。これからは内容的・デザイン的に、さらに充実した会報となるよう努力を続けたい(ふ)。

かにえ国際交流友の会

会長：藤田美保
 TEL: 0567-95-9724 / 052-872-5855
 E-mail: fujita@nsc.nagoya-cu.ac.jp
 事務局：蟹江町役場総務部企画課内
 〒497-8601 蟹江町大字西之森字長三郎2
 TEL: 0567-95-1111, FAX: 0567-95-9188